

本市の主要な取り組みについて

行政改革は市民合意に基づいて行うべき



小林 重樹 議員

日本遺産吹屋のこれから戦略について

小林 グリーンスローモビリティと空港吹屋直行バスの事業内容は。産業経済部長 吹屋での回遊性を図り観光消費額の増加につながるグリーンスローモビリティは2台導入し、土、日、祝日に無料で運行する。バスは空港から吉備中央町吉備プラザ～備中高梁駅～吹屋～新見駅まで運行する。

グリーンスローモビリティは2台導入し、土、日、祝日に無料で運行する。バスは空港から吉備中央町吉備プラザ～備中高梁駅～吹屋～新見駅まで運行する。

移住・定住と人口問題について

小林 移住定住問題を横断的に取り組める部署はできないか。またこの部署の職員は異動周期を長めにすべきではないか。

市長 私の下に移住定住推進を一元的に扱う政策監を配置する。子

小林 ベビーファーストの理念とは、市としてどのような施策を計画しているのか。
市長 理念の中心は、やはり赤ちゃんとだと思う。この地域において赤ちゃんをしっかりと育していく。そのため子育てに関する支援策を行っていく。そのことがベビーファースト運動の趣旨だと思つ。

市長 私の下に移住定住推進を一元的に扱う政策監を配置する。子

大型公共事業の見直しを

石部 3件の大型公共施設建設事業費が、物価高騰などの理由で約35億円から約77億円と2倍に膨れ上がった。無理をせず、計画の見直しをすべきでは。

総務部長 有利な財源を活用するには期限が切られており、トータルで考えれば市民の利益になる。

公共施設は閉鎖をすべきでない

石部 地域の公共施設を閉鎖するなら市民合意が必要ではないか。
総務部長 引き続き地元で維持管理されるなら、活用いただける。

石部 維持管理について地元負担を求めるのか。

総務部長 市民サービスを維持しながらコスト削減に努め、生み出した財源を未来への投資に使っていく。

ごみ収集の有料化について

石部 そもそもゴミの収集と処理は誰が行うのか。他自治体の実態を見ても、有料化がゴミ削減に結び付いていないが。

市民生活部長 ごみ処理は市町村に課された仕事である。有料化は一つのインセンティブになると考えている。

石部 誠 議員



石部 誠 議員

これからの戦略について

小林 グリーンスローモビリティと空港吹屋直行バスの事業内容は。産業経済部長 吹屋での回遊性を図り観光消費額の増加につながるグリーンスローモビリティは2台導入し、土、日、祝日に無料で運行する。バスは空港から吉備中央町吉備プラザ～備中高梁駅～吹屋～新見駅まで運行する。

移住・定住と人口問題について

小林 移住定住問題を横断的に取り組める部署はできないか。またこの部署の職員は異動周期を長めにすべきではないか。

市長 私の下に移住定住推進を一元的に扱う政策監を配置する。子

育て、農業、都市整備のことなど子育てに関するあらゆる情報を政策監が一元的に管理して次のステップにつなげていく。そういう仕組みをつくっていきたいと考えている。

ベビーファーストの取り組みについて

小林 ベビーファーストの理念とは、市としてどのような施策を計画しているのか。
市長 理念の中心は、やはり赤ちゃんをしっかりと育していく。そのため子育てに関する支援策を行っていく。そのことがベビーファースト運動の趣旨だと思つ。

市長 私の下に移住定住推進を一元的に扱う政策監を配置する。子

大型公共事業の見直しを

石部 3件の大型公共施設建設事業費が、物価高騰などの理由で約35億円から約77億円と2倍に膨れ上がった。無理をせず、計画の見直しをすべきでは。

総務部長 有利な財源を活用するには期限が切られており、トータルで考えれば市民の利益になる。

公共施設は閉鎖をすべきでない

石部 地域の公共施設を閉鎖するなら市民合意が必要ではないか。
総務部長 引き続き地元で維持管理について地元負担を求めるのか。

総務部長 市民サービスを維持しながらコスト削減に努め、生み出した財源を未来への投資に使っていく。

ごみ収集の有料化について

石部 そもそもゴミの収集と処理は誰が行うのか。他自治体の実態を見ても、有料化がゴミ削減に結び付いていないが。

市民生活部長 ごみ処理は市町村に課された仕事である。有料化は一つのインセンティブになると考えている。

石部 誠 議員



これからの戦略について

小林 グリーンスローモビリティと空港吹屋直行バスの事業内容は。産業経済部長 吹屋での回遊性を図り観光消費額の増加につながるグリーンスローモビリティは2台導入し、土、日、祝日に無料で運行する。バスは空港から吉備中央町吉備プラザ～備中高梁駅～吹屋～新見駅まで運行する。

移住・定住と人口問題について

小林 移住定住問題を横断的に取り組める部署はできないか。またこの部署の職員は異動周期を長めにすべきではないか。

市長 私の下に移住定住推進を一元的に扱う政策監を配置する。子

育て、農業、都市整備のことなど子育てに関するあらゆる情報を政策監が一元的に管理して次のステップにつなげていく。そういう仕組みをつくっていきたいと考えている。

ベビーファーストの取り組みについて

小林 ベビーファーストの理念とは、市としてどのような施策を計画しているのか。
市長 理念の中心は、やはり赤ちゃんをしっかりと育していく。そのため子育てに関する支援策を行っていく。そのことがベビーファースト運動の趣旨だと思つ。

市長 私の下に移住定住推進を一元的に扱う政策監を配置する。子

大型公共事業の見直しを

石部 3件の大型公共施設建設事業費が、物価高騰などの理由で約35億円から約77億円と2倍に膨れ上がった。無理をせず、計画の見直しをすべきでは。

総務部長 有利な財源を活用するには期限が切られており、トータルで考えれば市民の利益になる。

公共施設は閉鎖をすべきでない

石部 地域の公共施設を閉鎖するなら市民合意が必要ではないか。
総務部長 引き続き地元で維持管理について地元負担を求めるのか。

総務部長 市民サービスを維持しながらコスト削減に努め、生み出した財源を未来への投資に使っていく。

ごみ収集の有料化について

石部 そもそもゴミの収集と処理は誰が行うのか。他自治体の実態を見ても、有料化がゴミ削減に結び付いていないが。

市民生活部長 ごみ処理は市町村に課された仕事である。有料化は一つのインセンティブになると考えている。

石部 誠 議員



これからの戦略について

小林 グリーンスローモビリティと空港吹屋直行バスの事業内容は。産業経済部長 吹屋での回遊性を図り観光消費額の増加につながるグリーンスローモビリティは2台導入し、土、日、祝日に無料で運行する。バスは空港から吉備中央町吉備プラザ～備中高梁駅～吹屋～新見駅まで運行する。

移住・定住と人口問題について

小林 移住定住問題を横断的に取り組める部署はできないか。またこの部署の職員は異動周期を長めにすべきではないか。

市長 私の下に移住定住推進を一元的に扱う政策監を配置する。子

育て、農業、都市整備のことなど子育てに関するあらゆる情報を政策監が一元的に管理して次のステップにつなげていく。そういう仕組みをつくっていきたいと考えている。

ベビーファーストの取り組みについて

小林 ベビーファーストの理念とは、市としてどのような施策を計画しているのか。
市長 理念の中心は、やはり赤ちゃんをしっかりと育していく。そのため子育てに関する支援策を行っていく。そのことがベビーファースト運動の趣旨だと思つ。

市長 私の下に移住定住推進を一元的に扱う政策監を配置する。子

大型公共事業の見直しを

石部 3件の大型公共施設建設事業費が、物価高騰などの理由で約35億円から約77億円と2倍に膨れ上がった。無理をせず、計画の見直しをすべきでは。

総務部長 有利な財源を活用するには期限が切られており、トータルで考えれば市民の利益になる。

公共施設は閉鎖をすべきでない

石部 地域の公共施設を閉鎖するなら市民合意が必要ではないか。
総務部長 引き続き地元で維持管理について地元負担を求めるのか。

総務部長 市民サービスを維持しながらコスト削減に努め、生み出した財源を未来への投資に使っていく。

ごみ収集の有料化について

石部 そもそもゴミの収集と処理は誰が行うのか。他自治体の実態を見ても、有料化がゴミ削減に結び付いていないが。

市民生活部長 ごみ処理は市町村に課された仕事である。有料化は一つのインセンティブになると考えている。

石部 誠 議員



これからの戦略について

小林 グリーンスローモビリティと空港吹屋直行バスの事業内容は。産業経済部長 吹屋での回遊性を図り観光消費額の増加につながるグリーンスローモビリティは2台導入し、土、日、祝日に無料で運行する。バスは空港から吉備中央町吉備プラザ～備中高梁駅～吹屋～新見駅まで運行する。

移住・定住と人口問題について

小林 移住定住問題を横断的に取り組める部署はできないか。またこの部署の職員は異動周期を長めにすべきではないか。

市長 私の下に移住定住推進を一元的に扱う政策監を配置する。子

育て、農業、都市整備のことなど子育てに関するあらゆる情報を政策監が一元的に管理して次のステップにつなげていく。そういう仕組みをつくっていきたいと考えている。

ベビーファーストの取り組みについて

小林 ベビーファーストの理念とは、市としてどのような施策を計画しているのか。
市長 理念の中心は、やはり赤ちゃんをしっかりと育していく。そのため子育てに関する支援策を行っていく。そのことがベビーファースト運動の趣旨だと思つ。

市長 私の下に移住定住推進を一元的に扱う政策監を配置する。子

大型公共事業の見直しを

石部 3件の大型公共施設建設事業費が、物価高騰などの理由で約35億円から約77億円と2倍に膨れ上がった。無理をせず、計画の見直しをすべきでは。

総務部長 有利な財源を活用するには期限が切られており、トータルで考えれば市民の利益になる。

公共施設は閉鎖をすべきでない

石部 地域の公共施設を閉鎖するなら市民合意が必要ではないか。
総務部長 引き続き地元で維持管理について地元負担を求めるのか。

総務部長 市民サービスを維持しながらコスト削減に努め、生み出した財源を未来への投資に使っていく。

ごみ収集の有料化について

石部 そもそもゴミの収集と処理は誰が行うのか。他自治体の実態を見ても、有料化がゴミ削減に結び付いていないが。

市民生活部長 ごみ処理は市町村に課された仕事である。有料化は一つのインセンティブになると考えている。

石部 誠 議員



これからの戦略について

小林 グリーンスローモビリティと空港吹屋直行バスの事業内容は。産業経済部長 吹屋での回遊性を図り観光消費額の増加につながるグリーンスローモビリティは2台導入し、土、日、祝日に無料で運行する。バスは空港から吉備中央町吉備プラザ～備中高梁駅～吹屋～新見駅まで運行する。

移住・定住と人口問題について

小林 移住定住問題を横断的に取り組める部署はできないか。またこの部署の職員は異動周期を長めにすべきではないか。

市長 私の下に移住定住推進を一元的に扱う政策監を配置する。子

育て、農業、都市整備のことなど子育てに関するあらゆる情報を政策監が一元的に管理して次のステップにつなげていく。そういう仕組みをつくっていきたいと考えている。

ベビーファーストの取り組みについて

小林 ベビーファーストの理念とは、市としてどのような施策を計画しているのか。
市長 理念の中心は、やはり赤ちゃんをしっかりと育していく。そのため子育てに関する支援策を行っていく。そのことがベビーファースト運動の趣旨だと思つ。

市長 私の下に移住定住推進を一元的に扱う政策監を配置する。子

大型公共事業の見直しを

石部 3件の大型公共施設建設事業費が、物価高騰などの理由で約35億円から約77億円と2倍に膨れ上がった。無理をせず、計画の見直しをすべきでは。

総務部長 有利な財源